

■ 特徴

- 建設工事現場の高所作業において、墜落対策として作業員の安全を確保します。
- ラッセル安全ネット(15mm目合い)は、工具など小さなものの落下対策に最適です。



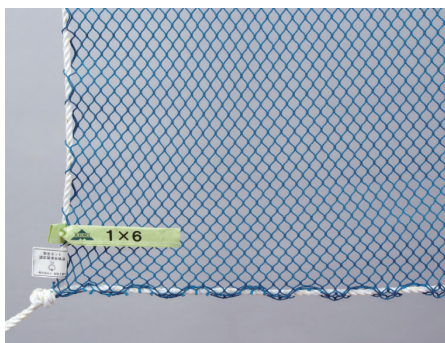
15mm目合い

100mm目合い

■ KSK-HV

■ KSK-4815 (非防災)

■ KSK-HV-100



■ 商品仕様

ラッセル安全ネット

型式	KSK-HV	KSK-4815	KSK-HV-100
編地の種類	ラッセル網地	ラッセル網地	ラッセル網地
網目一辺の大きさ(mm)	15	15	100
網系の引張強さ(kN) (平均値)	0.40以上	0.40以上	2.06以上
縁網・吊網の引張強さ(kN)	14.7以上	14.7以上	14.7以上
充実率(%) ^{※1}	30	30	13
防災性能	適合	-	適合
製品サイズ(m)	0.5×6、1×6、2×6 3×6、4×7、5×5 5×10、6×6、7×7 7×10、8×8	※KSK-4815のみ 販売となります。	1×6、3×6、5×5 5×10、6×6、8×8 10×10

※1. 参考データ

使用基準・使用方法

【1】適用

建築工事現場において、労働者の墜落による危険防止のために用いる『安全ネット』を安全に使用するためのものです。

【2】定義

用語は、次のように定義する。

〔網糸〕 網地を構成する糸

〔単体ネット〕 1枚のネットを言う。

〔複合ネット〕 複数枚のネットをつなぎ合わせたネットを言う。

〔網目の大きさ〕 網目の一辺の長さ（網芯～網芯の長さ）

〔落下高さ〕 作業床等のネットの取付け位置との垂直距離

〔ネット下部の空き〕 ネットの取付け位置とネット下方における衝突の恐れのある床面又は機械設備との垂直距離

【3】認定基準

項目		ラッセル網地		かえるまた網地		無結節網地	
		平均値	最小値	平均値	最小値	平均値	最小値
網地の引張強さ (kN)	15mm目	0.40以上	0.35以上	—	—	—	—
	30mm目	0.74以上	0.69以上	—	—	—	—
	50mm目	1.13以上	1.03以上	1.08以上	0.98以上	—	—
	100mm目	2.06以上	1.87以上	1.96以上	1.77以上	2.36以上	2.16以上
縁綱・吊綱の引張強さ(kN)		14.7以上					
落下試験結果 (落体:90kg)	落下高さ(m)	0.75L (L:安全ネットの短辺長)					
	網地の異常	著しい損傷及び貫通を認めず					
	減速度(m/s ²)	147以下					

●一般社団法人仮設工業会発行 「仮設機材認定基準とその解説」より引用

【4】落下高さ、ネット下部の空き、ネットの垂れ、安全ネットを設置する際の寸法は下記の通りである。

ネットサイズ		固定間隔 (m) 記号:A	落下高さ(m)		ネット下部の空き(m)		ネットの垂れ(m)
辺(m)	短辺長(m) 記号:L		単体ネット	複合ネット	単体ネット	複合ネット	
計算式		L<Aの場合 L≥Aの場合	0.25×(L+2A)以下 0.75L以下	0.20×(L+2A)以下 0.60L以下	0.85×(L+3A)÷4以上 0.85L以上	0.95×(L+3A)÷4以上 0.95L以上	0.20×(L+2A)÷3以上 0.20L以下
6	0.5	3.0	1.63	1.30	2.02	2.26	0.43
6	1	3.0	1.75	1.40	2.13	2.38	0.47
6	2	3.0	2.00	1.60	2.34	2.61	0.53
6	3	3.0	2.25	1.80	2.55	2.85	0.60
7	4	2.3	3.00	2.40	3.40	3.80	0.80
5	5	2.5	3.75	3.00	4.25	4.75	1.00
10	5	2.5	3.75	3.00	4.25	4.75	1.00
6	6	3.0	4.50	3.60	5.10	5.70	1.20
7	7	2.3	5.25	4.20	5.95	6.65	1.40
8	8	2.7	6.00	4.80	6.80	7.60	1.60
10	10	2.5	7.50	6.00	8.50	9.50	2.00

※L:ネットの短辺長 A:安全ネットの支持点、長方形のネットの場合は長辺側における支持点間隔(m)

●一般社団法人仮設工業会発行 「墜落防止設備等に関する技術基準」より引用

安全ネット架設図

